



町では、将来町の担い手となる子どもたちの健全育成を図るため、平成4年から毎年、県外研修を実施しています。

3回目となった今年は、多数の応募者の中から抽選により選ばれた小中学生25名が、7月30日から2泊3日の日程で、北海道研修を行ってきました。

今月号では、地元小中学生との交流会やオホーツク山村体験の里での酪農見学、砂糖・ホタテ工場見学など広大な北海道で様々な体験をした子どもたちの感想文を紹介します。

# 自然を満喫

ました。特産のビートを原料に砂糖を作っているそうです。次に宿泊場所へ行き各自荷物を運び、オホーツク山村体験の里主催の歓迎及び、夕食会をしました。食べたことのない肉や、エビ、サケを使った料理を食べさせてもらいました。おふろは牛乳ぶろに初めて入りました。自由時間は、トランプなどで遊び、寝袋で寝ました。

六時に起床し、酪農家の家へ乳しほりに行きま



地元子どもたちとの交流会

北糖工場へ行きながら、北見市を見学しました。

美幌岬から下に広がる屈斜路湖の方々の案内で、体験の里研究会のホタテ工場を見学しました。体験の里を出発して、ホタテ工場を見学しました。ここには、マイナス六・五度という部屋に入ったり、たくさんつまった雪がとても大きな音でくずれる音も聞きました。

今日は、五時三十分起床し、朝食を食べて清掃してからお別れ式をしました。体験の里を出発して、ホタテ工場を見学しました。ここには、マイナス六・五度という部屋に入ったり、たくさんつまった雪がとても大きな音でくずれる音も聞きました。



上塚小6年 浅野美枝子

牛の大きさに  
びっくら

「行ってきます。」の一声で私達二十五名は、北海道二泊三日の旅に出発しました。集合が六時三十分で、羽田空港までバスで行き、日本エアシステムの飛行機で女満別空港へ行きました。美幌町の「かね久」で昼食をすませて湧別町教育委員の方々と、オホーツク山村体験の里研究会の方々の案内で、美幌岬から下に広がる屈斜路湖を見学しました。

北糖工場へ行きながら、北見市を見学しました。

美幌岬から下に広がる屈斜路湖の方々の案内で、体験の里研究会のホタテ工場を見学しました。体験の里を出発して、ホタテ工場を見学しました。ここには、マイナス六・五度という部屋に入ったり、たくさんつまった雪がとても大きな音でくずれる音も聞きました。